

応用物理学会 2019年秋季学術講演会シンポジウム
2019年9月19日（木） 於 北海道大学 札幌キャンパス
※本シンポジウムへの一般講演も募集しております

宇宙実験と磁場中実験で拓く 重力制御科学

宇宙の微小重力空間を利用して種々の研究がなされている。国際宇宙ステーション（ISS）におけるJAXAの研究では密度対流を減じた実験空間で様々な成果を上げている。一方、磁場中では磁気力によって微小重力環境のみならず加重力環境も実現される。加えて、磁気トルクやローレンツ力も加わる新しい反応場として興味深い。本シンポジウムでは重力制御場で解明され、または生まれる新しい科学について現状の成果、問題点、未来についてまとめて講演を行う。

招待講演者

講演内容（予定）

松本聡（JAXA）	宇宙実験の概要、微小重力環境下での対流
岡田秀彦（NIMS）	強磁場による対流抑制計算
廣田憲之（NIMS）	強磁場下での対流抑制とタンパク結晶成長
稲富裕光（JAXA）	重力制御環境下でのタンパク結晶成長
山本勲（横国大）	重力制御強磁場下によるタンパクと氷の結晶成長
古川義純（北大）	微小重力環境下での氷結晶成長
植田千秋（阪大）	微小重力下での磁化率測定

企画：磁気科学研究会

世話人：山登正文（首都大）、三井好古（鹿児島大）、
岩井一彦（北大）